

モーリタニア月例報告
(2019年6月)

2019年7月
在モーリタニア日本国大使館

主な出来事

【内政】

- 6月 7日 次期大統領選挙：選挙キャンペーンの開始
- 6月 8日～20日 大統領選挙：選挙キャンペーンの各候補の動き
- 6月16日 大統領選挙キャンペーンの評価に関する独立選挙委員会コミュニケ
- 6月20日 選挙キャンペーン終了に関する独立選挙委員会の発表
- 6月23日 大統領選挙：第1回投票暫定結果発表
チャンバス西アフリカ・サヘル地域担当国連事務総長特使の大統領表敬
- 6月24日 大統領選挙に対する野党タワースル党元党首の発言
大統領選挙に関するAU選挙監視団の評価
大統領選挙に対するスペイン政府反応
- 6月25日 野党立候補者2名による憲法評議会への選挙結果不服申し立て
大統領選挙後の抗議デモに関するイスマイル外相によるマリ、セネガル、ガンビアの当地駐在大使の召喚
大統領選挙に対するフランス、モロッコ、UAE政府の反応
- 6月26日 大統領選挙に対するアルジェリア政府の反応
- 6月27日 大統領選挙に対するサウジアラビア及びオマーン政府の反応
閣議後定例記者会見：大統領選挙後の抗議デモに関するイスマイル外相によるマリ、セネガル、ガンビアの当地駐在大使の召喚等

【外政】

- 6月11日 アブデル・アジズ大統領のアフリカ連帯信託基金出資者ラウンドテーブル出席
アブデル・アジズ大統領のナイジェリア訪問
- 6月13日 サウジアラビアの空港に対する攻撃に関するモーリタニア外務・協力省コミュニケ
- 6月24日 アブデル・アジズ大統領のエジプト訪問
イスマイル外相の地中海両岸サミット出席

G5サヘル合同部隊に関するイスマイル外相の発言

【経済】

6月24日 バシール首相のアフリカ大陸自由貿易圏の地域フォーラム出席

【内政】

●次期大統領選挙：選挙キャンペーンの開始（6月7日付当地ニュースウェブ
サイト「モーリタニア通信（AMI）」）

1 6月22日に第1回投票が実施される大統領選挙のための選挙キャンペーンが同7日午前0時に開幕し、大統領選立候補者以下全6名が選挙キャンペーンを開始した。なお、独立選挙委員会（CENI）によって改定された今次選挙人リストには、154万4,132人が登録されている。

(1) ガズワニ (Mr. Mohamed Ould Cheikh Mohamed Ahmed Ould EL GHAZOUANI)

(2) ブーバッカール (Mr. Sidi Mohamed BOBACAR Boussalef)

(3) ビラム (Mr. BIRAM Dah Abeid)

(4) マウルード (Mr. Mohamed Sidi MAOULOUD)

(5) アル＝ムルタジー (Mr. Mohamed Lemine EL MOURTEJE El Wavi)

(6) ハミドゥ・ババ (Mr. Kane HAMIDOU BABA)

2 ガズワニ候補は、ヌアディブで選挙キャンペーンを開始し、同キャンペーンにはアブデル・アジズ現大統領を含む多数の同候補支持者が参加した。同候補はスピーチを行い、ダフレト・ヌアディブ州在住の有権者に対し、同候補への投票を呼びかけた。

●大統領選挙キャンペーンの各候補の動き（6月7日～21日付「AMI」）

1 ガズワニ (Mr. Mohamed Ould Cheikh Mohamed Ahmed Ould EL GHAZOUANI)

6月7日 深夜0時、北部ダフレト・ヌアディブ州ヌアディブ市で選挙キャンペーン開始。

午後、南部トラルザ州ロツソ市で演説会開催。

6月8日 南部ブラクナ州アレグ市で演説会開催。

6月9日 南部ゴルゴル州カエディ市で演説会開催。

6月10日 南部ギディマガ州セリバビ市で演説会開催。

6月11日 午後、南東部ホード・エッシュアルギ州ネマ市で演説会開催。

夜、ティリス・ゼムール州フデイリック市で演説会開催。

6月12日 南東部ホード・エルガルビ州アイウン市で演説会開催。

6月13日 報道なし。

6月14日 中部タガント州ティジクジャ市で演説会開催。

- 6月15日 北部ティリス・ゼムール州ズエラート市で演説会開催。
- 6月16日 北部アドラル州アタール市で演説会開催。
- 6月17日 北部インシリ州アクジュージト市で演説会開催。
- 6月18日 又アクショット3州の同氏選挙キャンペーン事務所を訪問し、街頭演説実施。
- 6月19日 又アクショット州内の同氏選挙キャンペーン事務所を訪問し、街頭演説実施。
- 6月20日 又アクショット旧空港で選挙キャンペーン最終演説会開催。なお、同演説会には、アブデル・アジズ大統領臨席。

2 ブーバッカル (Mr. Sidi Mohamde BOBACAR Boussalev)

- 6月 7日 深夜0時、又アクショット西州テブラグ＝ゼイナ市で選挙キャンペーン開始。
午後、東南部ホード・エッシャルギ州ネマ市で演説会開催。
- 6月 8日 南東部ホード・エルガルビ州アイウン市で演説会開催。
- 6月 9日 南部アッサバ州キッフア市で演説会開催。
- 6月10日 南部ブラクナ州アレグ市で演説会開催。
- 6月11日 南部トラルザ州ワド・ナガ市及び同州ブティリミット市で演説会開催。
南部ブラクナ州アグシオルギュイット市
- 6月12日 又アクショットで記者会見開催。
- 6月13日 南部ギディマガ州セリバビ市で演説会開催。
- 6月14日 南部ゴルゴル州カエディ市で演説会開催。
- 6月15日 南部トラルザ州ロッソ市で演説会開催。
南部ブラクナ州メバーニュ市及び同州ババベ市及びボゲ市で演説会開催。
- 6月16日 報道なし。
- 6月17日 中部タガント州ティジクジャ市で演説会開催。
北部アドラル州アタール市で演説会開催。
- 6月18日 南部ゴルゴル州カエディ市で演説会開催。
- 6月19日 北部ダフレト・ヌアディブ州ヌアディブ市で演説会開催。
- 6月20日 又アクショット西州クサールのシェイカ・ウルド・ボイディヤ競技場で最終演説会開催。

3 ビラム (Mr. BIRAMA Dah Abeid)

- 6月 7日 深夜0時, ヌアクショツト西州クサル市で選挙キャンペーン開始。
午後, 東南部ホード・エッシャルギ州・ネマ市で演説会開催。
- 6月 8日 南東部ホード・エルガルビ州アイウン市で演説会開催。
- 6月 9日 南部アッサバ州キッフア市で演説会開催。
- 6月10日 中部タガント州ティジクジャ市で演説会開催。
- 6月11日 北部アドラル州アタール市で演説会開催。
- 6月12日 北部ティリス・ゼムール州ズエラート市で演説会開催。
- 6月13日 ヌアクショツト北部を出発点とし, ヌアクショツト西州テブラグ・ゼイナ市の選挙事務所本部を終着地点とした選挙行進の実施。
中部インシリ州アクジュージト市で演説会開催。
- 6月14日 報道なし。
- 6月15日 南部トラルザ州ロツソ市で演説会開催。
- 6月16日 南部ゴルゴル州カエディ市で演説会開催。
- 6月17日 南部ギディマガ州セリバビ市及び同州ウルド・イエンジェ市で演説会開催。
- 6月18日 南部アッサバ州カンコッサ市で演説会開催。
- 6月19日 北部ダフレト・ヌアディブ州ヌアディブ市で演説会開催。
- 6月20日 ヌアクショツト国立美術館近郊で最終演説会開催。

4 マウルード (Mr. Mohamed Sidi MAOULOUD)

- 6月 7日 深夜0時, ヌアクショツトで選挙キャンペーン開始。
午後, ヌアクショツトで記者会見開催。
- 6月 8日 報道なし。
- 6月 9日 北部ティリス・ゼムール州ズエラート市で演説会開催。
- 6月10日 北部アドラル州アタール市で演説会開催。
- 6月11日 報道なし。
- 6月12日 南東部ホード・エッシャルギ州ティムベドラ市で演説会開催。
- 6月13日 南東部ホード・エッシャルギ州ネマ市で演説会開催。
- 6月14日 報道なし。
- 6月15日 中部タガント州ティジクジャ市で演説会開催。
- 6月16日 南部ブラクナ州アレグ市で演説会開催。
- 6月17日 南部ゴルゴル州カエディ市で演説会開催。
- 6月18日 報道なし。
- 6月19日 ヌアクショツトで演説会開催。

6月20日 北部ダフレト・ヌアディブ州ヌアディブ市で最終演説会開催。

5 アル＝ムルタジー (Mr. Mohamed Lemine EL MOURTEJE Wavi)

6月 7日 深夜0時, ヌアクショット北州, トウジュニン市で, 選挙キャンペーン開始。

午後, ヌアクショット内にある同氏の選挙キャンペーン事務所(3か所)を訪問。

6月 8日 ヌアクショットの中央市場(マルシェ・キャピタル)で街頭演説実施。

6月 9日 ヌアクショット西州テブラグ・ゼイナ市で演説会開催。

ヌアクショット北州テヤレット市の中央市場(Marche Central)及び同州女性市場で街頭演説実施。

6月10日 南部トラルザ州ワド・ナガ市で演説会開催。

6月11日 南部アッサバ州キッフア市で演説会開催。

6月12日 報道なし。

6月13日 南東部ホード・エッシェルギ州ネマ市で演説会開催。

6月14日 報道なし。

6月15日 南東部ホード・エッシェルギ州アウエイナット・ゼベル郡で演説会開催。

6月16日 南部アッサバ州ギユエルル市バグダッド村で演説会開催。

6月17日 南部同ゴルゴル州カエディ市, 同ブラクナ州ボゲ市及びババベ市で街頭演説実施。

6月18日 報道なし。

6月19日 北部アドラル州アタール市で演説会開催。

同州アクジュージト市の市場を訪問し, 街頭演説実施

北部ティリス・ゼムール州ズエラート市で支援者集会に参加及び同州フデイリック市, 同州トゥアジル市を訪問し, 街頭演説実施。

ヌアクショットで同氏選挙事務所主催の芸術イベントに出席し, 演説実施。

6月20日 北部ダフレト・ヌアディブ州ヌアディブ市で最終演説会開催。

6 ハミドゥ・ババ (Mr. Kane HAMIDOU BABA)

6月 7日 朝, 南部ブラクナ州ボゲ市で選挙キャンペーン開始。

南部ブラクナ州ババベ市で演説会開催。

夜, 南部ゴルゴル州カエディ市で演説会開催。

6月 8日 報道なし。

- 6月 9日 南部ギディマガ州セリバビ市で演説会開催。
- 6月10日 南部ギディマガ州ウルド・イエンジェ市で演説会開催。
- 6月11日 報道なし。
- 6月12日 南東部ホード・エルガルビ州メドブグー市で演説会開催。
- 6月13日 南東部ホード・エルガルビ州コベンニー市各村で演説会開催。
- 6月14日 南部ブラクナ州ダルエル・バルカ市で演説会開催。
南部トラルザ州テカン市で演説会開催。
- 6月15日 南部トラルザ州ロツソ市で演説会開催。
- 6月16日 北部ダフレト・ヌアディブ州ヌアディブ市で選挙集会開催。
- 6月17日 北部ティリス・ゼムール州ズエラート市で演説会開催。
- 6月18日 北部インシリ州アクジュージト市で演説会開催。
- 6月19日 報道なし。
- 6月20日 ヌアクショットで最終演説会開催。

●大統領選挙キャンペーンの評価に関する独立選挙委員会コミュニケ（6月17日付「オリゾン」）

1 独立選挙委員会（以下、CENI）は、選挙プロセスに関心のあるすべての人々とのパートナーシップを強化し、公正で透明性のある選挙を組織するための措置につき最大限の合意を得るため、6人の立候補者の代理と3回にわたって会合を行った。同会合では、主に愛国心及び国家の抱える現状の認識（への言及）、順応性、肯定的反応が見られた。

2 同会合において、6月22日の第1回投票に関して意見交換が行われ、CENIは、立候補者代理によるすべての意見及び提案に関心をもって注意深く聞き取った。同会合では、いくつかの点について合意に至った。CENIは、本機会において、同会合での責任と自制の精神が表れた立候補者代理の姿勢と建設的意見の提案を称賛する。

3 CENIは、国民に対し、以下のとおり発表する。

（1）公正で透明性の保たれた選挙を実施し、そのために法的手続きを含むあらゆる措置を講じることを再度誓約するとともに、政界全体、特に大統領候補及び彼らの代理との協議を継続する。

（2）立候補者に対し、積極的姿勢及びCENIとの会合への出席につき感謝する。CENIは、選挙の公正性及び透明性という共通目的の達成のために協力するという揺るぎない決意と、会合での合意事項を実行するというコミットメントを表明する。

（3）立候補者と関係者を祝福するとともに、残りの選挙キャンペーンでの演説や選挙活動において、倫理観の尊重をもって健全な闘いが実施されることを

推奨する。

(4) 国営及び民間メディアに対し、この非常に重要な時期において、職業倫理の規則を重視し、公正性と穏健主義の精神を遵守するよう再度呼びかける。

●選挙キャンペーン終了に関する独立選挙委員会の発表（6月20日付「AMI」）

1 6月20日朝、独立選挙委員会（以下、CENI）委員長顧問モハメド・ヤヒヤ・ウルド・アフメドナ博士（Dr. Mohamed Yahya Ould Ahmednah）は、選挙キャンペーンが平和裏に行われた点及び立候補者及び関係者を含むすべての人々の責任感の強さを称賛した。

2 同氏は、CENIが選挙者名簿及び投票用紙、投票用紙記入場備品、投票箱等の必要な機材等をヌアクショツト3州及び国内各州に送付し、22日に予定されている投票のための選挙運営準備を終えたと発表した。

3 有権者数は、1,544,132人であり、国内の投票所数は3,862か所である。

●大統領選挙：第1回投票暫定結果発表（6月23日付「AMI」）

1 6月23日22時頃、独立選挙委員会（CENI）は、22日に実施された大統領選挙第1回投票の暫定結果を発表した。暫定結果によれば、ガズワニ候補（与党）が有効投票数の過半数を得票しているため、不服申し立てプロセスを経て、憲法評議会がガズワニ候補の当選を最終結果として発表する見込みである。

2 投票概要。

(1) 有権者数：1,544,132人（注：当地人口は約450万人）

(2) 投票者数：967,594人

(3) 無効投票数：28,800票

(4) 白票：9,484票

(5) 有効投票数：929,310票

(6) 投票率：62.66%（注：2014年の大統領選挙の投票率は56.55%、昨年9月に実施された国政及び地方選挙の第1回投票の投票率は73.44%）

3 各候補得票数及び得票率（括弧書き）

(1) ガズワニ候補（与党）：483,312票（52.01%）（当選）

(2) ビラム候補（無所属）：172,656票（18.58%）

(3) ブーバッカル候補（無所属）：166,058票（17.87%）

(4) ハミドゥ・ババ候補（無所属）：80,916票（8.71%）

(5) マウルード候補（野党UFP）：22,695票（2.44%）

(6) アル＝ムルタジー候補（無所属）：3,676票（0.40%）

4 今後の日程

各候補者は、CENIによる暫定結果発表後8日以内に憲法評議会に対し不服申し立てを行うことができ、申し立てがなければ結果が確定する。申し立てがあれば同評議会は評定を下し、選挙結果を確定又は取りやめを決定する。最終結果は、右不服申し立てプロセスを経て、憲法評議会が最終結果として当選者を発表する。

5 野党側の反応

野党側は、CENIの暫定結果の公式発表を待たずにガズワニ候補が23日未明に勝利宣言したことを強く批判した。6月23日午後、暫定結果の最終発表を待たずしてムルタジー候補以外の候補者4名が共同記者会見を開き、本結果を受け入れないと発表した。同日夜、4名は内務・地方分権省に呼び出されたが、その後更に共同声明を発表し、ガズワニ候補の勝利宣言を受け入れず、第一回投票で勝利した者はいないと主張し、モーリタニア国民と一致団結して平和裏に民主主義を守り抜くと発表した。

●チャンバス西アフリカ・サヘル地域担当国連事務総長特使の大統領表敬（6月23日付「AMI」）

1 6月23日、当地訪問中のチャンバス西アフリカ・サヘル地域担当国連事務総長特使が、アブデル・アジズ大統領を表敬した。

2 大統領表敬終了後の同特使インタビュー概要

(1) 我々の地域では、時として、「投票日」が混乱を表徴する日となることから、昨日（22日）平和裏に行われた選挙は、すべてのモーリタニア国民が誇るべき資産である。

(2) 本表敬の機会において、共和国大統領に対し、国連からの評価及び同事務総長からの祝意を表すとともに、今般の選挙に対する支援を改めて表明する。投票は実施されたことから、現在は結果を待ち、独立選挙委員会（CENI）にプロセスの完了、暫定結果の発表、同結果の最終決定を発表するための憲法評議会への提出をさせることが必要である。

(3) 国連事務総長が、大統領立候補者及び支持者に対し、CENIとの協力を訴える声明を発売している。選挙結果への苦情については、憲法評議会の管轄部署に連絡すべきである。

(4) 安全及び平和維持、そして民主主義及びグッドガバナンス強化のために、現在実施中のプロセスにおいて、すべての関係者がそれぞれの役割を果たすことを願う。

●大統領選挙：野党タワースル党元党首の発言（6月24日付当地独立系ニュースウェブサイト「クリデム」）

当地イスラム運動の指導者であるウルド・マンスール（Mr. Mohamed Jemil Ould Mansour）氏は、22日の大統領選挙のガズワニ候補の勝利を祝福した。また、同氏は、その他の立候補者に宛てた書簡において、同選挙の投票で見られた違反行為は、選挙結果に対する不服申し立てを行うには不十分であり、不服申し立てを正当化できるものではないと言及した。

●大統領選挙に関するAU選挙監視団の評価（6月24日付当地独立系ニュースウェブサイト「アル＝アフバール」）

1 選挙のすべてのプロセスが平穩に実施され、22日の投票は申し分ない状況の中で実施された。

2 他方、AU監視団が訪れた2016か所の投票所のうち、88か所の投票所において投票開始が15分から30分遅れ、42か所の投票所において障害者、妊婦、老人のアクセスが困難であり、また、標識が不明瞭な投票所もあった。

3 モーリタニア政府に対し、民主主義の強化に不可欠な信頼関係の構築を図るため、様々な政治アクターとの対話を深化させることを推奨する。また、独立選挙委員会（CENI）に対して、政治的立場が異なる人々もCENIに組み入れることで、より包括的な組織とするよう推奨する。

4 フィレモン・ヤン（カメルーン人）が主導するAU監視団は、候補者及び政治アクターに対し、選挙プロセスや政界における対立を避けるよう呼びかける。

●大統領選挙に対するスペイン政府反応（6月24日、スペイン外務省ホームページ）

1 スペイン政府は、選挙中に民主主義的価値観にコミットし、憲法に即した政権移行を実現したガズワニ氏及びモーリタニア国民を祝福する。

2 スペインとモーリタニアは人的、文化的、歴史的絆を基盤とした良好な戦略的關係にあり、具体的には安全保障、防衛、国境管理、移民、漁業等の分野等が挙げられる。

3 この新たな局面において、スペインの開発協力において重要な国であるモーリタニアの発展に、経済關係の促進をもって貢献することを再度約束する。また、両国の国民及びマグレブ・サハラ地域を利する両国間の絆を推進し続けることを再確認する。

●大統領選挙：野党立候補者2名による憲法評議会への選挙結果不服申し立て（6月26日付仏国際ラジオ「RFI」）

6月25日深夜、野党立候補者であるブーバカル候補及びビラム候補の2候補が、憲法評議会に対し、22日に実施された大統領選挙の投票結果を破棄し、新たに編成された独立選挙委員会（CENI）及び信用のおける監視団の下での再選挙実施を請願した。

●大統領選挙後の抗議デモに関するイスマイル外相によるマリ、セネガル、ガンビアの当地駐在大使の召喚（6月26日付「RFI」）

1 イスマイル外相による召喚

6月25日、イスマイル外相は、セネガル、ガンビア及びマリの当地駐在大使を召喚した。

2 アブダッラ内務・地方分権大臣の発言

同日夜、アブダッラ内務・地方分権大臣は、国内外の記者の前で、近隣国からの外国人が多数の負傷者を出した選挙抗議デモを実施したと非難し、国家治安を脅かす行為があったと言及した。また、同大臣は、同選挙抗議デモ取り締まりによる多くの逮捕者の中には、一定数の外国人が含まれるとし、今後、すべてのデモが取り締まられると言及した。なお、同大臣は、右外国人の出自については言及しなかったが、外務大臣はセネガル、ガンビア及びマリの当地駐在大使を召喚している。

3 インターネット通信網の遮断

内務・地方分権大臣の記者会見では言及がなかったが、6月23日午後以降のモバイルインターネット通信の遮断及び25日以降のすべてのインターネット・アクセスの遮断が見られている。

●大統領選挙に対するフランス、モロッコ、UAE政府の反応

1 フランス・ヨーロッパ・外務省コミュニケ（6月26日付「オリゾン」）

（1）フランスは、6月22日に実施された大統領選挙が平和裏に行われたことを祝福する。この歴史的な民主主義の瞬間に、多くのモーリタニア国民が参加したことを喜ばしく感じる。

（2）独立選挙委員会が当選者として発表した、ガズワニ候補を祝福する。

（3）フランスは、これまでにモーリタニアと友好関係を構築しており、すべてのモーリタニア国民に利する、地域の安全保障、経済的発展及び社会的正義のための共通目的を支援してきた。モーリタニア及びフランス両国民の結束を更に強力にするために、新政権と共により一層緊密に協働していく。

2 モロッコ・ムハンマド6世国王の祝辞（6月26日付「オリゾン」）

（1）モーリタニア・イスラム共和国で実施された大統領選挙の素晴らしい成功に対し祝意を述べるとともに、心からの賛辞を表す。

（2）モーリタニア及びモロッコ両国間の有意義な協力関係を更に強化されることを願う。また、両国民の友好、連帯及び相互尊重の関係が強化されるとともに、両国が直面する課題に取り組むために、更なる相互扶助及び統合が実現されることを祈念する。

3 ムハンマド・アブダビ皇太子兼連邦軍副司令官のガズワニ候補との電話会談における祝辞（6月25日付当地独立系ニュースウェブサイト「サハラメディア」）

（1）次期大統領として当選したガズワニ候補を祝福するとともに、新しい職務における同氏の成功を祈願するハリーフ大統領からの祝辞を伝達する。

（2）兄弟国であるモーリタニア・UAE間の友好関係の強化の意志を再確認するとともに、モーリタニア国民の更なる発展、繁栄及び安寧を祈願する。

●大統領選挙に対するアルジェリア政府の反応（6月27日付「オリゾン」）

1 アルジェリア国民、政府、また自身の名において、（ガズワニ）閣下を心から祝福し、全能の神アッラーが閣下を成功へといざない、兄弟国であるモーリタニア国民を幸福と繁栄に導くことを願う。

2 閣下の選出は、モーリタニア国民の閣下に対する信頼の表れであると同時に、開発プロセスを継続し、一層の成長と繁栄を実現することへの同国民の強い願望を表している。

3 この機会をとらえ、二国間を結ぶ友好・協力関係強化を継続し、同関係をより高いレベルへと昇華させることで、一層の成長、開発、繁栄を望む両国民の希望を具体化するという我々の決意を表明する。これにより、アラブ・マグレブ連合の基盤を強化し、相互扶助、統合、開発の共有の推進を目指す。

●大統領選挙に対するサウジアラビア及びオマーン政府の反応（6月27日及び28日付「AMI」）

1 サルマン・サウジアラビア国王発祝辞（6月27日付「AMI」）

サウジアラビア王国国民及び政府、また自身の名において、（ガズワニ）閣下を心から祝福し、閣下の成功及びモーリタニア・イスラム共和国国民の幸福と繁栄を祈念する。

2 ムハンマド・ビン・サルマン・サウジアラビア皇太子兼副首相兼国防大臣発祝辞（6月28日付「AMI」）

（ガズワニ）閣下を心から祝福するとともに、閣下の成功及び健康並びにモー

リタニア・イスラム共和国国民の幸福と繁栄を祈念する。

3 カブース・オマーン国王発祝辞（6月27日付「AMI」）

当選した（ガズワニ）閣下を心から祝福し、モーリタニア国民の希望と熱意を実現させる、兄弟国モーリタニアの成功を心から願うとともに、モーリタニア及びオマーン二国間関係の更なる発展と興隆を願う。

●閣議後定例記者会見：大統領選挙後の抗議デモに関するイスマイル外相によるマリ、セネガル、ガンビアの当地駐在大使の召喚等（6月27日付「AMI」）

1 インターネット通信遮断や治安部隊の大規模配置等の行政当局による治安措置に係る質問に対し、マハム文化・伝統産業・議会大臣兼公式スポークス・パーソンは、政府こそが治安問題への裁断を下す決定権を有する唯一の機関であり、治安維持のために予防措置として必要な措置を講ずる権限があると言及した。また、同大臣は、秩序が通常の状態に戻れば、治安措置は体系的に解除される予定であり、これらの措置は他国でも見られると述べた。

2 同大臣兼公式スポークス・パーソンは、多数の外国人が先日ヌアクショットで行われた抗議デモに参加したが、近隣国政府及び同国民等を非難しているわけではないと述べた。同大臣は、イスマイル外相が、近隣国の当地駐在大使を召喚し、同国の一部の当地在留民が蛮行に参加したと通達するとともに、モーリタニアにおいて客人である彼らは選挙には関係なく、このような妨害行為に参加してはならない点を、各大使から通達するように要請した、と言及した。他方、今般のデモに外国が密かに関与していると述べた。

【外政】

●アブデル・アジズ大統領のアフリカ連帯信託基金出資者ラウンドテーブル出席（6月12日付「オリゾン」）

1 6月11日、アブデル・アジズ大統領が、赤道ギニアの首都マラボで開催されたアフリカ連帯信託基金出資者のラウンドテーブルに出席し、スピーチを行った。スピーチの要旨は以下のとおり。

（1）ンゲマ・ムバソゴ赤道ギニア共和国大統領及び赤道ギニア政府関係者、国民の温かく寛大な歓迎に対し、謝意を表す。また、アフリカ連帯信託基金の運用において決定的な役割を果たした同大統領の前衛的ビジョンを称賛する。赤道ギニアは、同基金に対し、最初に拠出するという惜しみない貢献をしており、同基金は、現在、アフリカの食料安全の改善に係る革新的イニシアチブとして評価されている。

（2）しかしながら、これら努力にもかかわらず、飢餓、栄養失調、食料不足

は、我々の大陸において、依然として大きな課題であり、何百万人ものアフリカ人の自己啓発と幸福を妨げ、国家の開発の遅れを引き起こしている。これらの課題に対する、アフリカ連帯信託基金の独自性は、各国家の戦略及び政策を補完する役割を担っていることである。同枠組みにおいて、食料安全保障及び栄養、農業及び農村開発並びにターゲット層のレジリエンスの包括的強化を目的とした事業への支援といった貴重な貢献が実施されている。同活動を通じて、同基金は、食料供給及び若者の雇用機会を増加させると同時に、天然資源の管理及び食糧生産の質を向上させている。

(3) 食料安全保障や、その直接的な影響を受ける資源及び農牧業産物の開発、人口のレジリエンス強化、資源の持続可能な管理といった問題は、過去10年間に於けるモーリタニアの公共政策において、中心的な位置を占めてきた。我が国は、食料供給及び農牧業産品の質的及び量的改善を目指した中長期的戦略の実施のみならず、自然災害や伝染病といった緊急事態によって生じる栄養失調や飢餓等、考え得るあらゆるリスクに対処するための特別な枠組みを常設してきた。アフリカ連帯信託基金の持つ重要性は、国家間で相互扶助をし、パートナーを動員することによって、アフリカ大陸の食料安全保障を確保し、アフリカにおけるSDGsの達成の促進のための最良の枠組みを提供していることである。

(4) モーリタニアは、同基金の第2回資金調達への貢献を明言するとともに、アフリカ大陸の兄弟国及び我々のパートナー国に対し、食料安全保障のための闘いのみならず、アフリカにおけるSDGs達成のための手段を更に強固にするために、アフリカ連帯信託基金の資金増強へ貢献するよう要請する。

●アブデル・アジズ大統領のナイジェリア訪問（6月12日付「オリゾン」）
6月11日午後、訪問先の赤道ギニアを出発したアブデル・アジズ大統領がナイジェリアの首都アブジャに到着した。同大統領のナイジェリア訪問の目的は、アブジャで開催されるナイジェリア民主主義の日及び2月に実施された大統領選挙において56%の支持率で第二期目の就任が確定した、ブハリ・ナイジェリア大統領の就任式への出席。

●サウジアラビアの空港に対する攻撃に関するモーリタニア外務・協力省コミュニケ（6月13日付「AMI」）

1 モーリタニア・イスラム共和国は、水曜夜明け（6月12日夜明け）に発生し、多国籍の女性や子供を含む、罪のない民間人が負傷した、兄弟国サウジアラビアのアブハ空港を狙った攻撃を最も強い言葉で非難する。

2 市民の施設及び人口密集地域を狙い、罪のない人々の安全を脅かす行為は、

慣習，価値観，協定及び関連する法律に反する行為である。

3 我々は，負傷者の一刻も早い回復と願うとともに，サウジアラビアの安全保障，領土保全及び地域や世界において同国が果たす中心的役割に対する連帯と全面的支持を表明する。

●アブデル・アジズ大統領のエジプト訪問（6月24日付「AMI」）

6月24日，アブデル・アジズ大統領が，アフリカのサッカーワールドカップであるアフリカネイションズカップ2019（CAN2019）のモーリタニア代表初戦（対マリ戦）を観戦するため，同戦が開催されるエジプトのスエズに向けて，ヌアクショットを出発した。なお，モーリタニア代表は，今大会が，アフリカネイションズカップにおける初の本戦進出となる。

●イスマイル外相の地中海両岸サミット出席（6月24日付「AMI」）

1 6月24日，イスマイル外相は，マクロン仏大統領のイニシアチブの下フランス・マルセイユで開催された地中海両岸サミットに出席した。同サミットには，G5+5諸国（仏，西，伊，葡，マルタ，モーリタニア，アルジェリア，チュニジア，モロッコ，リビア）に独を加えた11か国の外務大臣及びその他国際ドナーが出席した。同サミットでは，エネルギー及び環境，文化分野の数々のプロジェクトを紹介するために，G5+5の市民社会代表が参加した。紹介されたプロジェクトは，今後資金提供を受ける予定。

2 イスマイル外相は，同サミット参加国間における協力及び親善強化を図ることを目的としたマルセイユ宣言に署名をした。

●G5サヘル合同部隊に関するイスマイル外相の発言（6月24日付仏週刊誌「Jeune Afrique」（ウェブサイト版））

6月24日，フランスのマルセイユで開催されていた地中海両岸サミットに参加していたイスマイル外相に対して行ったインタビュー記事を掲載。

（数々の批判の的となっているG5サヘルの現状はどのようなものか，という記者の質問に対し，）

1 責任に関しては，分担されている。ただし，友人である欧州諸国及び国連に対して伝えるべき重要なことは，約束された装備品がまだ全て支給されていない上，EUからの一定の補償金を除いて，要求した資金が投下されていないにもかかわらず，G5サヘル合同部隊のみが責任を負うことは困難であるということである。EUは，非常に積極的な取り組みを実施しているが，非常に進捗が遅いと言わざるを得ない。

2 国連は，G5サヘルのような機関が不可欠であると理解することが重要で

ある。従来の平和維持システムはすでに時代遅れである。そもそも、平和維持を実施するには、維持すべき平和が必要である。現在、我々が対処しているのは、敵対する正規軍ではなく、危険で機動的な過激主義グループであるため、G5サヘルのような地理的条件を熟知した軍が必要である。

3 MINUSMAは付加価値を有し、同部隊の活動地域において、良き結果を出している。しかし、MINUSMAはサヘル地域中心部での活動はしておらず、同地域における活動については、G5サヘルとの協働が必要である。それゆえに、我々は、持続的な資金の調達、そして、我々のG5サヘル合同部隊の越境活動を可能とするために、G5サヘルを国連憲章第7章（平和に対する脅威、平和の破壊及び侵略行為に関する行動）下に位置づけることを要求する。

【経済】

●バシール首相のアフリカ大陸自由貿易圏の地域フォーラム出席（6月24日付「AMI」）

1 アフリカ大陸自由貿易圏（AfCFTA）の地域フォーラムの開催

（1）6月24日、バシール首相は、セネガルのダカールで開催されたアフリカ大陸自由貿易圏に係る地域フォーラムに、アブデル・アジズ大統領の代理として出席した。セネガル政府がアフリカ経済委員会及びアフリカ委員会、欧州委員会と共催した2日間にわたる同フォーラムは、アフリカ自由貿易圏協定実施における保証並びに西アフリカ及び中央アフリカが受ける影響に関し協議される。

（2）「アフリカ大陸自由貿易圏：繁栄した大陸に向けたアフリカ統合の深化」がテーマである同フォーラムには、政策決定者及び経済アクター、市民団体、研究機構が参加し、工業化及び経済の多様化、雇用機会の創出の分野において、アフリカ地域に、経済の具体的で統合的かつ持続的変革をもたらす方法についての提言がなされる。

（3）アフリカ大陸自由貿易圏は、アフリカ連合のアジェンダにおいて、主要プロジェクトと見なされており、アフリカを経済的に発展させアフリカ諸国間商業貿易を、2020までに60%に拡大することを目的としている。

2 バシール首相のスピーチ

（1）アブデル・アジズ・モーリタニア・イスラム共和国大統領の代理として、アフリカ大陸自由貿易圏実施に係る地域対話のための重要なフォーラムに出席できることを、非常に誇りに思う。また、セネガル政府及び国民の皆様の温かい歓迎に謝意を表す。

（2）アフリカ統合への最も重要な場であるこのフォーラムへの私の参加は、（アフリカの）国や国民同士を結びつけ、共通の将来を確固たるものとし、調

和のとれた開発及び経済的統合をもたらすであろうアフリカ大陸自由貿易圏を通じて、巨大なアフリカ共通市場を実現することに対する、モーリタニアの断固たるコミットメントを雄弁に反映するものである。

(3) 我々の国民の理想の中でも特別なこの目的実現のために、モーリタニア政府は、過去10年間、アブデル・アジズ大統領の下、セネガル川開発機構(O M V S)、G5サヘル、最近協力協定を締結した西アフリカ諸国経済共同体(E C O W A S)等、地域機構や地域連帯強化を図るため、数多くの取組を行ってきた。

(4) モーリタニアは、その戦略地政学的立場及びアフリカへの深い帰属、アフリカ連合及びアラブ連盟、アラブ・マグレブ連合等の数々の機関への所属から、南北アフリカ間の商業活動や貿易において、肝要なアクターとなっている。

(5) 同貿易圏の実現は、12億人以上の消費者を持つ市場を創造し、現在16%しかない、アフリカ諸国間での貿易を飛躍的に増加させることになるだろう。さらに、同貿易圏の実現は、(アフリカ)各国の市場を拡大させ、アフリカ大陸への外国人投資家を引き寄せることとなるだろう。これは、経済成長及び雇用創出にとっても肯定的な影響をもたらすであろう。さらには、同貿易圏が生み出す大規模な経済により、アフリカ企業が、更なる競争力をつける環境が生み出されるであろう。

(6) 我が国とセネガル間で署名された、モーリタニア・セネガル沖海底ガス(G T A)開発に係る政府間協力協定は、アフリカ連帯における成功例であり、西アフリカ地域における最も大きなガス田の一つを共同開発するための決定的一歩である。同協定締結が証明する、アブデル・アジズ大統領及びマッキー・サル・セネガル共和国大統領の先見の明及び誓い、意志、決意に対し、心から敬意を表する。

(6) 現在、我が国で、透明性と公正な競争の精神に基づいて実施されたばかりの大統領選挙の最終結果の公表を待っている。(同選挙は、)民主的なプロセス及び我々の制度の成熟性を反映し、モーリタニアの歴史上初めての民主的に選出された新旧大統領間での政権交代につながる事となる。モーリタニア国民や政治家からの要求があつたにもかかわらず、三期目立候補に係る憲法改正を拒否したアブデル・アジズ大統領を称賛する。

3 バシール首相の国連アフリカ経済委員会との会合

同日、バシール首相は、アフリカ大陸自由貿易圏地域フォーラムのマージンにおいて、ソングウェ(Ms. Vera SONGWE)国連アフリカ経済委員会委員長と会合し、モーリタニア及び国連間の協力関係強化及び開発の方途を協議した。

(了)